

# Webを活用した授業のためのTips

## 04\_リアルタイム遠隔授業の総論

### Web活用授業の実施環境の準備

甲南大学教育学習支援センター

# はじめに

- この資料では、Webを活用した授業（以下Web活用授業）に関する事柄を網羅的にまとめています。
  - 00～：Web活用授業に係る総論
  - 10～：Web活用授業教材作成について
  - 20～：MyKONANの授業支援機能について
  - 30～：Web会議システム「Zoom」の利用について
- 簡易的ではありますが、使用するツールなどの活用例を、実際に甲南大学で利用可能なものに絞り、掲載しています
  - 掲載の範囲であれば、完全とは言えないまでも、大学内で何らかのサポートができます
- もちろん、インターネット上には様々な情報が出ており、有益なものが沢山あります。それを独自に活用なさを制限するものではありません

# 04\_リアルタイム遠隔授業の総論の概要

見つかる、きみのなかの無限大。



KONAN INFINITY

- 「リアルタイム遠隔授業」方式の実施方法
  - 準備
  - ツール
- 「リアルタイム遠隔授業」実施で想定される課題
  - 出欠管理
  - いわゆる「荒らし」行為
  - 学生が使うツールのバッテリー

# 「リアルタイム遠隔授業」方式の 実施方法①

見つかる、きみのなかの無限大。



KONAN INFINITY

- 準備は「インターネット授業」での教材作成と全く同じ
- ツール
  - Skype for Business、Teams
    - 1対1の会話や少人数でのミーティングをする際には便利だが、基本的には参加者登録が必要で、受講者数が多い授業等で使用するには不向き
    - 今回のTips集としては下記の「Zoom」について説明する
  - Webテレビ会議システム「Zoom」
    - 主催者がアカウント登録していれば、そのほかの参加者のアカウント登録が必須ではない
    - 現状、2020年4月30日までは、同時参加者500名まで時間制限なしで使用可能
    - 2020年5月1日以降、学校法人甲南学園としてZoomの年間使用ライセンスを契約、契約後、基本は同時参加者300名まで時間制限なしに変更（500名・1000名まではオプション扱い、受講者数が多い授業担当者は応相談）
    - 教育学習支援センターまで申請要（別途Tips参照）
    - PCであれば、専用ソフトがなくても使える
      - タブレットやスマホはアプリが必要
      - 初めて使うときにアプリをインストールするガイドがある
    - 収録機能がある
- 留意点
  - 「参加者」＝「学生」がアクセスできるインターネット環境や保有する端末に依存する
  - 「使用できない」＝「授業に参加できない」可能性があり、そういったケースの対策が必要

# 「リアルタイム遠隔授業」方式の 実施方法②

見つかる、きみのなかの無限大。



KONAN INFINITY

- 「リアルタイム遠隔授業」に使う教室 = Zoomミーティングの設定が必要
  - 授業で利用する場合は、教育学習支援センターに連絡
    - 大学の教室のようなイメージでミーティングの“開催場所”を設定
    - 先生個々のアカウントでミーティングを設定
    - 教育学習支援センターにZoom利用申請（原則、甲南のメールアドレス）をすることで、参加者300名まで、時間無制限扱いになる
    - 参加者が300名を超える場合も要相談
  - 時間割等に基づき、Zoomミーティングを設定後、アクセスに必要な情報を伝達
    - クライアントアプリがない場合はアクセスに必要な「URL」
    - クライアントアプリがある場合は「ミーティングID」
    - ミーティングに入るための「パスワード」
    - ミーティングの全機能を使うための「ホストキー」
  - MyKONANのコース管理などで、上記のうち「ホストキー」以外の情報を学生と共有

Zoomミーティング → 招待をコピー

Zoomミーティングに参加する  
<https://us02web.zoom.us/j/91919191919>

ミーティングID: 919 1919 1919  
パスコード: 919191

# 「リアルタイム遠隔授業」実施で想定される課題①

見つかる、きみのなかの無限大。



KONAN INFINITY

- 「Zoom」をはじめとした、コミュニケーションツールだけでは出席管理できない
  - 運用でカバーできるが、幾分不確実
  - MyKONANの課題やテスト、クリッカーといった機能と合わせて使うことで、学生の行動を把握できる
- いわゆる「荒らし」行為の可能性がある
  - コミュニケーションツールはニックネームなどで参加できるため、匿名性があり、それを逆手に取った心無い行為の可能性を排除できない
  - 通常の授業で妨害行為を行うことと行為そのものは同質だが、いわゆる犯人が特定できず、全体への注意しかできない
  - 場合によっては、加害者と被害者の関係が起ころる可能性もあり、被害者へのケアや名誉回復への配慮が必要な場合もある

# 「リアルタイム遠隔授業」実施で想定される課題②

見つかる、きみのなかの無限大。



KONAN INFINITY

- 意外とネックになるかも・・・
  - バッテリーの問題：約60分接続すると
    - 2年前に買ったiPhoneX⇒25%程度消費
    - 2年前に買ったiPhone8⇒35%程度消費
    - 1年半前に買ったiPadmini⇒25%程度消費
    - 2年前にバッテリーを交換したiPhone6⇒40%程度消費
    - いずれもiOSのバッテリーの状態確認では90%以上
  - バッテリーの問題は、学生のスマホ購入時期によって大きく影響するかもしれない
    - スマホは高額なので、高頻度での買い換えは難しい
    - 今回、基本的に自宅での使用率が高いと考えられるので、電源につなぐよう一言添えると親切かもしれない

各種ご相談等は  
教育学習支援センターまで  
お寄せください

Mail:[lucks@adm.konan-u.ac.jp](mailto:lucks@adm.konan-u.ac.jp)

[Tel:078-386-4312](tel:078-386-4312) (内線 : 5851)